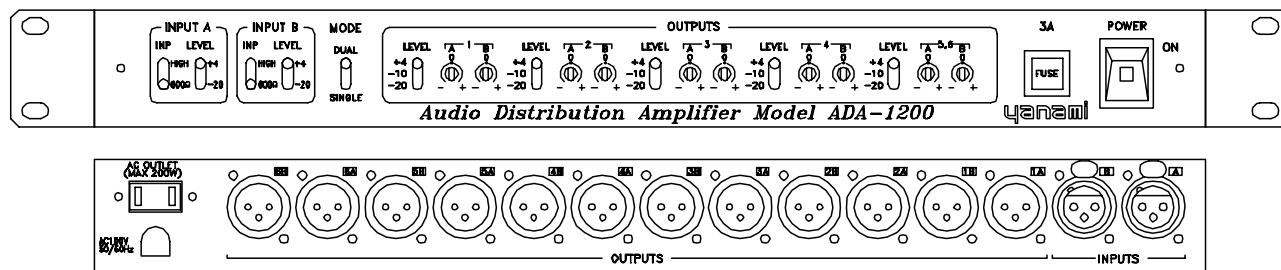


音声分配器 ADA-1200

CAT.NO AS-0101700839



製品概要

本装置は2入力、6分配、12出力のラックマウント1Uサイズの音声分配器です。

出力トランスは試聴によって得られたデータを元に設計・製作された音響トランスを使用し、分配による音質の変化を軽減しています。

各出力（11・12を除く）は独立したラインアンプを持ち、それぞれレベル設定・微調整が可能です。出力9と11、及び10と12はそれぞれ同じラインアンプを使用しますが、出力トランスは独立しています。入力A・BはHIGH/600Ωラインに適合できるようにインピーダンス切り替えスイッチを有します。また、ステレオあるいはシングル動作も切り替えスイッチで可能です。

定格性能

- | | | | |
|-----------|-------------------------|-------------------------|------|
| 1) 入力部 | 4dBm / -20dBm | 600Ω / 10KΩ 切替 電気バランス | 2系統 |
| 2) 出力部 | +4dBm / -10dBm / -20dBm | 600Ω 負荷適合 トランス出力 | 12系統 |
| 3) 周波数特性 | 20Hz ~ 20kHz | +0, -0.5dB | |
| 4) 信号対雑音比 | 80dB 以上 | +4dB 出力にて(20kHz LPF 使用) | |
| 5) 歪率 | 0.1% 以内 0.3% 以内 | +4dBm 出力時 +24dBm 出力時 | |
| 6) 出力可変 | ±6dB | 連続可変 | |
| 7) 使用 | 連続 (但し0℃ ~ 40℃以内) | | |
| 8) 外形 | 483w × 320d × 44h | | |
| 9) 重量 | 7kg | | |
| 10) 電源 | AC100V 50Hz / 60Hz | 34VA | |

音声分配器 ADA-1200

取扱説明書

1. 電源の投入

背面パネル左側のACプラグをAC100Vコンセントに差し込み、前面パネル右側の電源スイッチをONにします。電源が入ると、電源スイッチの中央にあるLEDランプが光ります。

背面アウトレットコネクタは、最大200Wまでの機器にご利用ください。前面の電源スイッチとは連動していません。

ヒューズ（ガラス管30mm×6φ即断型）を交換するときは、ヒューズホルダー前面の上部を小型マイナスイナドライバーの先で押すと、ホルダーが前面に飛び出てきます。ヒューズを新しいものと交換した後、ホルダーを取り付け、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

2. 接続

背面コネクタパネルの右から、入力A c h・B c h、出力A c h-1～6・B c h-1～6の計14個のコネクタがあります。入力コネクタはXLR3-12C（オス）、出力コネクタはXLR3-11C（メス）が適合します。ピンアサインは2番ホットです。

入力回路・出力回路ともに平衡回路ですが、不平衡回路を接続することも可能です。（レベル・特性の変化はありません）

前面パネルのMODEスイッチをDUAL側に設定すると、入力A c hが出力A c h-1～6へ、入力B c hが出力B c h-1～6へ、それぞれ6分配されます。

MODEスイッチをSINGLE側に設定すると、入力A c hが出力A c h-1～6・出力B c h-1～6へ12分配されます。SINGLE12分配での設定で使用する時は、入力A c h・B c hが並列接続になりますので、入力側の接続には十分注意してください。

3. インピーダンス設定スイッチ

前面パネルの入力操作部にA c h・B c hそれぞれIMPスイッチがあります。

上側でHIGH（10kHzΩ）、下側で600Ωに入力インピーダンスを設定します。接続する機器に合わせて選択してください。

MODEスイッチをSINGLEで使用する時はB c h側のインピーダンス設定は無効となります。

4. 入力レベルスイッチ

前面パネルの入力操作部にA c h・B c hそれぞれLEVELスイッチがあります。

上側で+4dBm、下側で-20dBmに入力レベルを設定します。接続する機器に合わせて選択してください。

MODEスイッチをSINGLEで使用する時はB c h側のレベル設定は無効となります。

5. 出力レベル設定スイッチと微調整トリム

前面パネルの出力操作部にあります。

負荷接続する機器に合わせて、出力レベル設定スイッチを $+4\text{ dBm}$ ・ -10 dBm ・ -20 dBm のいずれかに切り替えてください。

この設定スイッチは個々の分配出力に対して働きます。なお、各出力ごとに $\pm 6\text{ dBm}$ の間で微調整が行えます。

また、出力レベルはMODEスイッチの設定に影響を受けません。

本装置の出力レベルは、 $600\ \Omega$ 負荷にあわせて調整してあるので、ハイインピーダンス受けの機器を接続する場合は、機器側で $600\ \Omega$ を終端してください。

ADA-1200音声系統図

